

宮農情報 (小麦)

第55号 令和5年12月15日

福岡大城農業協同組合
南筑後・久留米普及指導センター

小麦の播種は11月15日頃から開始され、出芽も概ね良好です。今後は、排水対策及び雑草対策を徹底するとともに、倒伏しない麦作りのため、麦踏み・土入れを励行しましょう。

1 麦踏み

麦踏みは、麦の分けつ促進と倒伏防止の効果があります。麦3葉期から2月下旬頃の節間伸長開始期までに3～4回程度実施します。土壌が湿っている時に行うと、土壌を締めつけ生育を抑制することがあるため、土壌が十分乾燥した状態で行います。特に早播きしたほ場では、倒伏や凍霜害が発生しやすいため、麦踏みを徹底します。

2 土入れ

土入れは、無効分けつや雑草の抑制及び排水対策などの効果があります。1月上旬頃から3月上旬にかけて2～3回程度実施します。また、追肥後に行うと肥効が安定します。土塊が大きくなるように、麦踏みと同様に土壌が乾燥した状態で行います。なお、麦踏み直後は避け、麦が土に埋もれないようにします。また、麦の生育に応じて土の量を増やします。

3 追肥

出芽が揃っているほ場では、基準量の追肥を行います。緩効性肥料による追肥は、施用時期が極端に遅れると倒伏につながる恐れがあるので、遅播き（12月中下旬播き）のほ場においても施用時期を守りましょう。

(10aあたり)

品 種 名	追肥施用量 (施用時期)	穂揃期追肥 (施用時期)
シロガネコムギ	麦追肥一発2号 40kg (1月中～下旬)	—
ちくしW2号	硬質小麦専用追肥3004 30kg (1月下旬～2月上旬)	尿素4kg×2回※ (赤かび防除同時)

※ちくしW2号はタンパク質含有率を高めるため、穂揃期追肥を確実に行いましょう。

※穂揃期追肥は、10a当たり尿素4kgを、水100ℓに溶かして散布します。

なお、出芽が1月上旬頃まで遅くなったほ場や、深播き等で出芽の揃いが悪いほ場では、追肥一発肥料を使用せず、2月下旬～3月上旬に生育に応じて、NK2号を10～20kg/10a程度施用します。

4 排水対策

麦は湿害に弱く、排水不良田では根傷みや生育ムラ、枯熟れ等が生じます。土入れの後は、畝溝と落水口をつなぎ、ほ場に水が停滞しないようにします。雨の後に、雨水が停滞している箇所がないか確認しましょう。

5 雑草防除＜広葉雑草対策＞

ほ場の雑草を確認し、こよみや下記を参考に、雑草の種類に合った薬剤を選択します。

また、薬害防止と除草効果安定のため、薬剤散布直前～散布後 1 週間以内の麦踏み・土入れは避けます。

薬剤名	対象雑草	使用時期	10a 使用量	備考
ハーモニーDF	スズメテッポウ、 一年生 広葉雑草	節間伸長前まで	5～10g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメテッポウ、ヤエムグラ、カスノコグサ、ミチヤギは 10 g 推奨 ・タデ類に効果が高い
	一年生 広葉雑草	(小麦)節間伸長開始期 ～穂ばらみ期 (収穫 45 日前まで) ※大麦は節間伸長前まで しか使えません	3～10g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・カスノエトウ発生初期まで効果あり ・近年、ハーモニー剤が効かない抵抗性スズメテッポウが出ています。 ※ハーモニー細粒剤F とハーモニーDF はいずれか 1 回しか使用できない
エコポートフロアブル	一年生 広葉雑草	節間伸長開始期まで	50～100ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤエムグラに効果高い ・カスノエトウへの効果は低い ・薬害（軽微な白斑等）が生じることがある
バサグラン 液剤	一年生 広葉雑草	生育期 (小麦：収穫 45 日前まで) (大麦：収穫 90 日前まで)	100～200ml (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・キノコウ類に効果が高い ・高温、晴天時に効果が高い ・カスノエトウ 3 葉期まで効果あり

※上記の薬剤を使用した上で、3月頃までカスノエトウ等広葉雑草が残った場合

MCP ソーダ塩	一年生 及び 多年生 広葉雑草	幼穂形成期 (収穫 45 日前まで) 目安：3月上旬	200～300g (水 100L)	<ul style="list-style-type: none"> ・気温が高い方が効果高い ・<u>分けつ抑制作用があるため、茎数を十分確保してから散布する</u> ・カスノエトウ 4 葉期まで効果あり ・ヤエムグラには効果低い
----------	--------------------------	----------------------------------	----------------------	--

※農薬の散布にあたっては、近隣にある他作物、住居などに注意してください。

～「慣れ」と「油断」が事故を招きます～
”安全”な農作業と農薬使用を徹底しましょう！